京都のINGをCHECK IT OUT!!

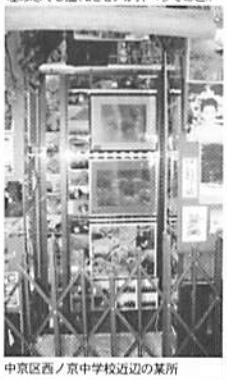
口コミ情報カタログ

今月のオレが甘かった

おもろいもん

壁に写真か、写真が壁か？ 極彩色の路上ギャラリー！

小径を覗くと「しゃしんのいえ」だった…。そう其処は「写真の家」。トリップ御免のカラフルワールド。アマチュア写真家の主が自宅一軒丸ごとを煌びやかな私的アルバムにデコレート。ネットが普及し誰もが簡単に作品を公開出来るコノご時世、言い換えれば顔が見えない時代。だからこそ主は現物展示にこだわるのか？コレは我々現代人への警鐘なのか？　全ては謎。この日も「撮影のため留守です」の張り紙。エッまだ増えるの!?　何処に貼るのヨ!?



「気軽に覗いて下さい」との看板。ひょっとすると家の中がメイン会場？　屋内を埋め尽くし溢れたモノが外へってこと!?

お花、風景、動物、花火大会、子供、お寺、お祭り、舞妓さん、どっかのミスコン。主に苦手なジャンルはないのだ！

中京区西ノ京中学校近辺の某所

旨いもん

関西切っての味のある奴 蛸エキス充満の夜おやつ

縁蛸
京都市左京区一乗寺出口町16
☎075・724・1380
⏰17:00～翌1:00
（土日祝12:00～24:00）／月休
http://www.entako.net/

電子レンジでは復活しない焼きたての味を提供するために、常に待ち時間は約12分。時間のない方は電話予約がベター

たこ味焼（9個）500円のほか、たこめし300円、土日祝限定のたこ天ぷらなど、蛸味が十二分に発揮された品々が揃う

「たこ味焼」の看板を通過して以来「たこ焼とどう違うねん！」と日増しに深まる謎を解明するために、窓辺で球体を転がす主人にオーダー。「12分ほどかかりますけど…」との宣告にもめげずじっと我慢。やがて現れた物体はソースも青海苔も皆無のすっぴん姿。物足りなさを感じつつ、ハフハフしながらお口へ投入するや、「ごもっとも！」と膝を打つほど蛸の味。山口直送の生蛸を丹念に揉んで生まれる弾力と風味は、たこ焼き聖地・関西の異端児か?!

林的映画三昧

イラストと文 ハヤシチサコ

ハヤシチサコ・無類の映画好きのイラストレーターにしてグラフィックデザイナー。「Club Fame」時代には、彼女のデザインが表紙を飾ったこともアリ。編集部の熱望により本誌への登場と相成った。

銭湯栄華を物語る今昔ミクスチャー銭湯

今月の銭湯 **長者湯**（ちょうじゃゆ）

極楽銭湯アワ～

時代の衣替えを重ねても大好きなモノはずっと一緒に

男湯、女湯ともに窓辺から池&石灯籠が見える。特に男湯の雪見灯籠は、初代が鹿山の富景から譲り受け牛車でこの地まで運んで来たもの

大正～平成まで親子3代で西陣の人々に湯を提供し続ける「長者湯」。修繕や改築は時折施してきたものの、「いいもの」が随所に残されている銭湯だ。唐破風造りの表玄関を入ると、脱衣場に背を向ける番台と対面。そして脱衣場には目を奪われる懐古アイテムが点在。窓際に設置されたサロンのごとき休憩コーナーは、石灯籠と池を眺めることができる湯上りの恍惚スポット。その頭上には甚だは見当たらない特大レトロ扇風機2機が涼風を送る。脱衣籠も柳行李で統一されているのは今や希少な眺めであり、それを収める脱衣箱（＝ロッカー）は一面ガラス扉のレトロモダンを感じるデザイン。平成5年の大改装でも効率のいい現代版に模様替えするどころか、古都風景のタイル絵や欄間を掲げてきたのだ。浴場に関してもサウナ等はないシンプルな装備ながら、「すっきりしないから」と鏡に広告文字を入れない愛するがゆえの頑なさ。今と昔を品よくミックスさせる上級テクが光る。

裏手には全長18mの煙突がそびえる。上長者町通に面していることから、「長者湯」と命名

京都市上京区上長者町通松屋町西入ル
☎075・441・1223
⏰15:20～24:00／火休